

マニュアル・
 日系企業外貨建社債ファンド 2016-09
 (為替ヘッジあり/限定追加型)
 愛称:プレミアム・ジャパン・ボンド16-09

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/債券
信託期間	2016年9月29日から2021年12月20日までです。
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主に日系企業(※)が発行する外貨建社債に投資することにより、投資信託財産の安定的な収益の確保および中長期的な成長をめざして運用を行います。 ・※日本企業もしくは日本企業の子会社のことをいいます。 ・原則として、投資する社債、劣後債は、当ファンドの償還日前に定時償還や初回コール(繰上)償還を迎える銘柄とします。当ファンドの償還日後に定時償還やコール(繰上)償還を迎える銘柄にも一部投資を行うことがあります。その投資割合は取得時において信託財産の純資産総額の35%以下とします。 ・債券の格付けは、取得時においてBBB格相当以上(R&I、JCR、S&P、FitchのいずれかでBBB-以上またはMoody'sでBa3以上)とします。
主な投資対象	主として、日系企業が発行する外貨建債券等に投資します。
主な投資制限	<ol style="list-style-type: none"> ①株式への投資は、転換社債を転換および新株予約権(転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限り)を行使したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ③投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。
分配方針	<p>毎決算時(原則毎年6月20日および12月20日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。第1期決算日は2016年12月20日。)に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ②収益分配額は、委託会社が基準価額の水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないこともあります。 ③留保益(収益分配に充てず信託財産に留保した利益)については、特に制限を設けず運用の基本方針に基づき運用を行います。

運用報告書(全体版)

第1期(決算日 2016年12月20日)

－受益者のみなさまへ－

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「マニュアル・日系企業外貨建社債ファンド 2016-09(為替ヘッジあり/限定追加型)愛称:プレミアム・ジャパン・ボンド16-09」は、このたび、第1期の決算を行いました。

ここに、第1期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

 **Manulife Asset Management**

マニュアル・アセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-1 丸の内トラストタワーN館

お問い合わせ先

サポートダイヤル: 03-6267-1901

受付時間: 営業日の午前9時~午後5時

ホームページアドレス <http://www.mamj.co.jp/>

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			株式 組入比率	債券 組入比率	投資信託 証券比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 分配	込金 騰落				
(設定日) 2016年9月29日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	% —	百万円 1,222
1期(2016年12月20日)	9,454	25	△5.2	—	102.3	—	1,625

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しています。

(注3) 基準価額は1万円当たり、騰落率は分配金込みで表示しています。

(注4) 当ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

■当期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準価額		株式 組入比率	債券 組入比率	投資信託 証券比率
		騰落率	騰落率			
第1期	(設定日) 2016年9月29日	円 10,000	% —	% —	% —	% —
	9月末	10,000	0.0	—	—	—
	10月末	9,890	△1.1	—	98.2	—
	11月末	9,588	△4.1	—	97.6	—
	(期 末) 2016年12月20日	9,479	△5.2	—	102.3	—

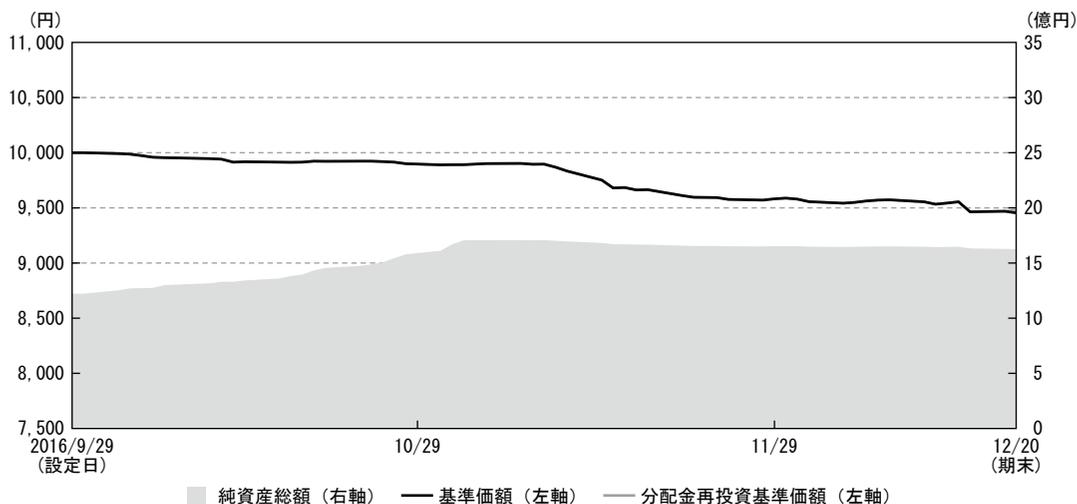
(注1) 騰落率は設定日比です。(期末基準価額は税金・分配金を含みます。)

(注2) 基準価額は1万円当たりです。

(注3) 当ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

運用経過

■基準価額等の推移 (2016年9月29日から2016年12月20日まで)



設定日: 10,000円

期末: 9,454円 (既払分配金25円)

騰落率: $\Delta 5.21\%$ (分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資(複利運用)したものととして、委託会社が算出したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

米国金利の上昇を受けて基準価格は下落しました。

■投資環境

米国金利は上昇しました。これは、米国新大統領にトランプ氏が選出され、大型財政出動の可能性が高まり、FOMC（米連邦公開市場委員会）の利上げのペースがやや速くなるとの見通しが出てきたためです。事実、2016年12月のFOMCにおいて、政策金利が引き上げられ、さらに2017年の利上げ見通しが2回から3回に引き上げられました。このような環境下、社債のスプレッドは安定的に推移しました。

[為替市況]

為替の動向は、ドル円では米国での利上げ観測を受けて円安米ドル高方向に推移しました。また、年末に近づき米ドル需要の高まりを受け、ヘッジコストは上昇しました。

■当該投資信託のポートフォリオ

主に日系企業が発行する外貨建社債に投資することにより、投資信託財産の安定的な収益の確保および中長期的な成長をめざして運用を行いました。期末時点の債券組入比率は102.3%でした。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

■収益分配金について

当期の収益分配は、分配方針に基づき第1期は25円とさせていただきました。留保益の運用については、元本部分と同一の運用を行います。

[分配原資の内訳]

(単位: 円、1万口当たり、税引前)

	第 1 期
	自2016年9月29日 至2016年12月20日
当期分配金	25
(対基準価額比率)	0.264%
当期の収益	23
当期の収益以外	1
翌期繰越分配対象額	24

(注1) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注3) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

■今後の運用方針

原則、保有銘柄の継続投資を行う予定ですが、市場状況に応じて新規発行銘柄を含め、割安で利回りを高めることのできる銘柄への入替を行います。

■ 1 万口当たりの費用明細

項目	第 1 期		項目の概要
	(2016年9月29日～2016年12月20日)		
	金額	比率	
平均基準価額	9,826円	—	期中の平均基準価額 (月末値の平均値) です。
(a) 信託報酬	20円	0.204%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率
(投信会社)	(10)	(0.098)	・ 委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(10)	(0.098)	・ 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.007)	・ 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 募集手数料	—	—	
(c) 売買委託手数料	—	—	(c) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(d) 有価証券取引税	—	—	(d) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用	6	0.061	(e) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数 その他費用
(保管費用)	(1)	(0.007)	・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(4)	(0.036)	・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(1)	(0.015)	・ 印刷は、印刷会社等に支払う法定書類の作成等に係る費用
(その他)	(0)	(0.003)	・ その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	26	0.265	

* 期中の費用 (消費税のかかるものは消費税を含む) は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

* 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ **売買及び取引の状況** (2016年9月29日から2016年12月20日まで)
 公社債

			買 付 額	売 付 額
外国	ア	メ	千米ドル	千米ドル
	リ	カ	16,075	1,078
	社 債 券 (投資法人債券を含む)			

(注1) 金額は受け渡し代金です。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切り捨てております。

(注3) 社債券(投資法人債券を含む)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

■ **主要な売買銘柄** (2016年9月29日から2016年12月20日まで)
 公社債

買 付		売 付	
銘	柄	銘	柄
	金 額		金 額
	千円		千円
MEIJI YASUDA LIFE INSURA(アメリカ)	156,153	JAPAN TOBACCO INC(アメリカ)	121,201
JAPAN TOBACCO INC(アメリカ)	140,410		
FUKOKU MUTUAL LIFE INSUR(アメリカ)	136,816		
NIPPON LIFE INSURANCE(アメリカ)	136,800		
SOFTBANK GROUP CORP(アメリカ)	130,639		
MITSUBISHI UFJ FIN GRP(アメリカ)	129,377		
ORIX CORP(アメリカ)	128,082		
DAI-ICHI LIFE INSURANCE(アメリカ)	127,237		
MITSUBISHI UFJ LEASE&FIN(アメリカ)	125,579		
MIZUHO FINANCIAL GROUP(アメリカ)	125,415		

(注) 金額は受け渡し代金です。(経過利子分は含まれておりません。)

■ **利害関係人との取引状況等** (2016年9月29日から2016年12月20日まで)
 当期中における利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ **第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己の取引状況**
 (2016年9月29日から2016年12月20日まで)

該当事項はありません。

■ **自社による当ファンドの設定・解約状況** (2016年9月29日から2016年12月20日まで)
 該当事項はありません。

■組入資産の明細 (2016年12月20日現在)

(A) 債券種類別開示

外国 (外貨建) 公社債

区 分	当 期					末		
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ア メ リ カ	千 米 ド ル 14,500	千 米 ド ル 14,195	千 円 1,663,483	% 102.3	% —	% 34.8	% 67.5	% —
合 計	14,500	14,195	1,663,483	102.3	—	34.8	67.5	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 額面・評価額の単位未満は切り捨てております。

(B) 詳細開示

外国 (外貨建) 公社債銘柄別

銘 柄 名	当 期					償 還 年 月 日
	利 率	額 面 金 額	評 価 額		外 貨 建 金 額	
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
(アメリカ)	%	千 米 ド ル	千 米 ド ル	千 円		
普通社債券 (含む投資法人債券)						
CENTRAL NIPPON EXPRESSWY	2.241	1,000	968	113,535	2021/2/16	
DAI-ICHI LIFE INSURANCE	4.0	1,200	1,118	131,082	2049/10/24	
FUKOKU MUTUAL LIFE INSUR	5.0	1,200	1,189	139,420	2049/10/28	
JAPAN TOBACCO INC	2.0	200	193	22,673	2021/4/13	
MEIJI YASUDA LIFE INSURA	5.2	1,300	1,329	155,807	2045/10/20	
MITSUBISHI UFJ FIN GRP	2.95	1,200	1,190	139,491	2021/3/1	
MITSUBISHI UFJ LEASE&FIN	2.25	1,200	1,162	136,233	2021/9/7	
MIZUHO FINANCIAL GROUP	2.273	1,200	1,157	135,666	2021/9/13	
NIPPON LIFE INSURANCE	4.7	1,200	1,188	139,322	2046/1/20	
NTT FINANCE CORP	1.9	1,200	1,150	134,780	2021/7/21	
ORIX CORP	2.65	1,200	1,175	137,775	2021/4/13	
SOFTBANK GROUP CORP	4.5	1,200	1,215	142,415	2020/4/15	
SUMITOMO MITSUI FINL GRP	2.058	1,200	1,154	135,279	2021/7/14	
合 計	—	—	—	1,663,483	—	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨てております。

■有価証券の貸付及び借入の状況 (2016年12月20日現在)

該当事項はありません。

■投資信託財産の構成

(2016年12月20日現在)

項 目	当 期		末 比 率
	評 価 額	比 率	
公 社 債	千 円	%	
	1,663,483	95.8	
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	72,793	4.2	
投 資 信 託 財 産 総 額	1,736,276	100.0	

(注1) 金額の単位未満は切り捨てております。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (1,694,957千円) の投資信託財産総額 (1,736,276千円) に対する比率は97.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=117.18円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末 (2016年12月20日)
(A) 資 産	3,357,394,052円
コール・ローン等	54,078,675
公 社 債(評価額)	1,663,483,858
未 収 入 金	1,621,117,470
未 収 利 息	10,373,384
前 払 費 用	8,340,665
(B) 負 債	1,731,431,403
未 払 金	1,718,577,000
未 払 収 益 分 配 金	4,299,750
未 払 解 約 金	4,672,536
未 払 信 託 報 酬	3,120,521
そ の 他 未 払 費 用	761,596
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,625,962,649
元 本	1,719,900,128
次 期 繰 越 損 益 金	△ 93,937,479
(D) 受 益 権 総 口 数	1,719,900,128口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	9,454円

(注1) 当ファンドの期首元本額は1,222,189,582円、期中追加設定元本額は502,657,123円、期中一部解約元本額は4,946,577円です。

(注2) 1口当たり純資産額は0.9454円です。

(注3) 貸借対照表上の総資産額が元本総額を下回っており、その差額は93,937,479円です。

(注4) 未払信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。

	第1期
未払受託者報酬	112,790円
未払委託者報酬	3,007,731円

■損益の状況

項 目	当 期 〔自2016年9月29日〕 至2016年12月20日
(A) 配 当 等 収 益	12,336,369円
受 取 利 息	10,930,209
そ の 他 収 益 金	1,406,160
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 94,178,870
売 買 益	231,117,984
売 買 損	△325,296,854
(C) 信 託 報 酬 等	△ 4,031,848
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 85,874,349
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 3,763,380
(配 当 等 相 当 額)	(225,146)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 3,988,526)
(F) 計 (D+E)	△ 89,637,729
(G) 収 益 分 配 金	△ 4,299,750
次 期 繰 越 損 益 金(F+G)	△ 93,937,479
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 3,986,967
(配 当 等 相 当 額)	(1,559)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 3,988,526)
分 配 準 備 積 立 金	4,228,358
繰 越 損 益 金	△ 94,178,870

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。

第1期

受託者報酬	112,790円
委託者報酬	3,007,731円

(注4) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注5) 収益分配金の計算過程は以下の通りです。

	第1期計算期間末
A 費用控除後の配当等収益	8,304,521円
B 費用控除後の有価証券等損益額	0円
C 信託約款に規定する収益調整金	225,146円
D 分配準備積立金	0円
E 分配対象収益(A+B+C+D)	8,529,667円
F 10,000口当たり分配対象収益	49円
G 分配金額	4,299,750円
H 10,000口当たり分配金額	25円

※本運用報告書作成時点において、本計算期間に係るファンド監査は終了していません。

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 1 期 (2016年12月20日)
1 万 口 当 た り 分 配 金	25円

・分配金は税込みです。

<課税上の取り扱い>

- ・分配金には、課税扱いとなる普通分配金と、非課税扱いとなる元本払戻金（特別分配金）があります。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については配当所得として課税され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収されます。
- ・法人の場合は異なります。

※税法が改正された場合等は、上記内容が変更になる場合があります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

お知らせ

◆約款変更

該当事項はありません。

◆運用体制の変更

該当事項はありません。